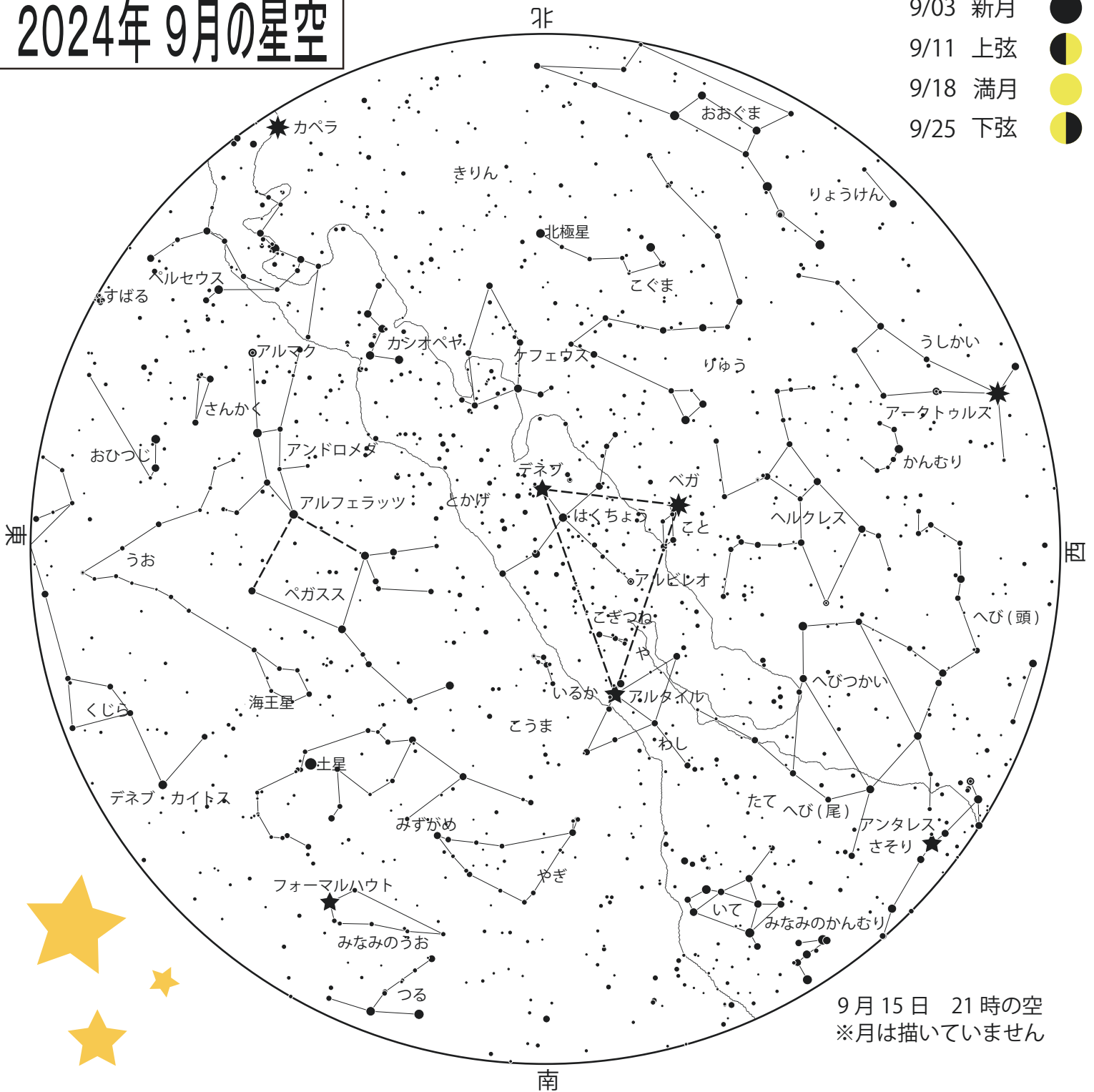


姫路で見る 2024年9月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

9/03 新月 
9/11 上弦 
9/18 満月 
9/25 下弦 



9月15日 21時の空
※月は描いていません

9月に入ると日が沈むのがどんどん早くなって、下旬になると、姫路ではいよいよ日の入りが午後5時台に突入します。最も日の入りが遅かった6月末に比べると、1時間20分以上早まることになります。まだまだ暑い日が続いているので体感的には夏ですが、季節は確実に秋に向かっていくようです。

空の高いところに、**こと座のベガ**、**わし座のアルタイル**、**はくちょう座のデネブ**をつないでできる**夏の大三角**が見えています。「夏の・・・」と言いながら、実は真冬を除いてほぼ1年中、夜空のどこかに見えています。明るい一等星ばかりでできているので、よく目立つ夜空のシンボルです。

中秋の名月は旧暦の8月15日の夜に見える月のことで、今年は9月17日です(満月は翌日の18日)。日本では豊作祈願に里芋をお供えしたことから、**芋名月**(いもめいげつ)と呼ばれることもあります。17日から18日にかけて月と**土星**が大接近するので、お月見といっしょに**土星**も楽しめるお得な夜になりそうです。夜遅くには東の空から**木星**と**火星**も昇ってくるので、豪華な3惑星の競演が楽しめます。また、9月下旬になると、**紫金山・アトラス彗星**が明け方の東の低い空に姿を現します。肉眼で見えるまで明るくなることを期待しましょう。